

無料送迎車でお気軽に

地下鉄・近鉄
竹田駅から
利用できます

- 竹田駅ご乗車場所 (竹田駅名神高架南側乗り場)
待機時間 8:20~9:50
- 京都市城南診療所 (診療所駐車場入り口に待機)
待機時間 10:00~12:20



車体のステッカーを目印にご乗車ください

○午前みの運行です。それぞれの待機時間以外は、下記の専用携帯電話に連絡をしていただければ、「巡回運行」をしておりますので、速やかなお迎えが可能です。

専用携帯番号 **080-3779-5907**

ホームページをリニューアルしました



常に最新情報と必要な発信ができるよう努力しています。ぜひ、ご覧ください。



京都市城南診療所 🔍

携帯からはコチラ

健康と安全

HEALTH & SAFETY

Vol.07 2020年10月15日発行

発行 (一財)京都労働災害被災者援護財団
京都市城南診療所
京都市伏見区竹田田中宮町98
〒612-8444 電話 075-623-1110(代) Fax 075-602-7476

移転に伴い住所が変更されています。ご確認よろしくお願いいたします。



伏見健康友の会のみなさまとともに



京都市城南診療所 診療体制表

2020年9月現在

		月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
外来診療体制表	午前診療 受付時間 8:30~11:30 診療開始 9:00~	1 診 津 島	中 山	津 島	木 村(優)	津 島	1・3・5 西田 2 岩崎 4 中島
	2 診		三 宅	中 山	永 田		糖尿病外来 1・3 福田 2・4・5 木村
	検 査	胃カメラ	胃カメラ	胃カメラ	胃カメラ	胃カメラ	胃カメラ
午後診療 受付時間 13:00~15:45 診療開始 13:30~	1 診	1・3・5 木村(優) 2・4 上田		津 島		2・4 向山 1・3・5 村上	
	2 診	呼吸器外来 津 島		循環器外来 2・4 中山			
夜間診療 受付時間 17:00~20:00 診療開始 17:30~	1 診	小 川				2・4 向山 1・3・5 村上	
	2 診					循環器外来 2・4 脊古	
	検 査	1 エコー検査				2・4 各検査 3 エコー検査	
大腸ファイバー検査は夜診帯で月2回程度実施(不定期)							

●表示の1・3や2・4は担当週を表しています ●都合により体制を変更する場合があります

		月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
施設内健診体制表	午前診療	一般・1診 ○	○	○	○	○	○
	一般・2診		○		○		
	婦人科	○		○	○ 2・4週		
午後診療	一般健診	○		○		○	
夜間診療	一般健診					○ 2・4週	

地域・事業所の皆様に支えられて意気軒昂、事業活動をすすめています

新たな飛躍をめざし、新築移転を無事終えて、4月1日に事業活動を再開いたしました。大変遅くなりましたが、移転のご報告をおこなうとともに、あらためてご支援、ご協力に厚くお礼申し上げます。ご承知の通り、開設直後の4月17日のコロナ感染症拡大に伴う緊急事態宣言は当法人・事業所の事業と経営に大打撃を与えました。外来検査の一部縮小とともに、宣言後の4月及び5月は、健康診断事業がほぼ全面中止という事態となりました。しかし、宣言解除後は、適切な感染症対策を行った受診環境をつくりあげ、健診事業は6月から本格的に再開しました。7月終りには昨年とほぼ同じ受診者数に到達しています。

さらに、予定から3ヶ月遅れにはなりますが、8月から施設内健診を週2回2人の医師診察で開始しています。快適な施設内での外来診療と健診事業は、コロナ対応をしっかりとしていることも含め、受診者様からは概ね好意的に受け止められています。

新天地で、地域や職場にでていく活動を強化しながら、職員一同、友の会会員様とともに医療・健診・健康づくりに取り組んでいきます。皆様のご理解とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。

2020年10月吉日

一般財団法人京都労働災害被災者援護財団 理事長 三宅 成恒
京都市城南診療所 所 長 津島 久孝

個人と事業所で 感染防止おすすめしよう

SARS-Cov2感染症（コロナ感染症）の特徴や感染経路、そして、(1)飛沫、(2)接触、(3)エアロゾルの感染防止について記載しました。必要以上に恐れず、正しく理解して事業活動をすすめていきましょう。何かあれば産業医などにご相談ください。

COVID19によるSARS-Cov2感染症（以下コロナと略）が2019年11月に中国で猛威を振るいはじめその後世界中を席巻しています。残念ながら、すぐの収束は期待できずワクチンができるにしてもあと1・2年は「with コロナ」の生活を強いられるようです。

医学の進歩は早く、コロナの正体はかなり早期に判明しました。感染方法は、飛沫感染（咳や会話のときの唾液中にウイルスが同伴し気道に吸い込まれる）、接触感染（机などについた飛沫に触った指を目や鼻につけて上気道に感染）そして密閉所でのエアロゾル感染（唾液が乾燥して軽くなった飛沫が空気中に浮遊したものを気道に吸い込む）以外の感染方法はありません。感染時期は発症2日前が最も感染しやすく、その日から8-9日で感染力は大幅に減じます。罹患しても無症状例も多く、国や人種そして経済的状況でも死亡率が異なることが判ってきました。

診断はPCR検査が基本ですが、陰性だからといって感染していないとは断定できません（3割程度）。抗原キットが実用化され精度もいいようです。ただ重症化するの肺炎からであり、肺CTは診断の助けになります。

感染防止は飛沫感染防止、接触感染防止、エアロゾル感染防止につきます。その基本はマスクと手洗いです。マスクは「アベノマスク」でも飛沫感染予防が確認されているので、「とにかくマスク」です。ここで重要なのが「無症状でも感染している可能性がある」という事実です。したがって「自分がすでに感染していると自覚して、他者に感染させないために会話時にはマスクをする」という自覚を持つ事が大切です。人との会話時には必ずマスクをつけて行いましょう。接触感染防止への対応は手洗いです。手洗いや消毒励行は必要ですが、その適度が難しいのです。エアロゾル感染防止は「三密（密集、密接、密閉）回避」につきます。



京都市南診療所
所長 津島 久孝

三密はクラスターを引き起こす確率が高いからです。換気は30分に一回程度が最適とされますが、全員マスク下でかつ密閉状態での感染のデータはないようです。

個人ですること

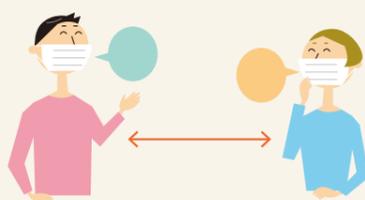
基本は、他者との会話時にはマスクをする、自分がすでに感染者であるとの自覚をもち他者に感染させない対応をおこなうことです。その上で三密をさけることが望ましいのです。また糖尿病や喫煙者などリスクのある方は、食べる、寝る、運動することを規則正しく行なう免疫力を下げない生活をおすすめします。また現在生活習慣病や癌治療など医療機関に定期通院されている方は、中断しないで下さい。薬切れなどでの原疾患の悪化は合併症を引き起こす危険があるだけでなくコロナ罹患をしやすくする場合があります。

なお濃厚接触者の定義には、「マスクをつけずに1m以下の距離で15分以上感染者と接触した場合」とあります。すなわちマスクをつけずに10分程度会話することは濃厚接触にはなりません。しかし基本はマスク装着励行です。

事業所のすること

事業者向けには厚労省HP上にコロナ感染者発症時への対応を含めQ&Aがあり、適時改定されています（厚労省HP）。事業所でコロナ感染者を出さないためには、基本はそれに乗っ取ることが必要です。具体的には産業医や医療関係者としっかりと相談し、事業所にあつた対応をとりましょう。また職員に対しては、

上記に記したように個人ですべきことをしっかりと認識してもらい、パンフレットなどを



安全・安心な医療・健診の提供と無差別平等・質の向上めざし 新天地で心新たに事業活動をすすめています

■コロナ感染防止マニュアルをいち早く確立させ安全で満足される事業活動を再開しました

- 玄関入口では、施設利用の前に、マスク着用と発熱のチェック、手指消毒を徹底しています。（写真左）
- 各階受付等では、飛沫防止対応としてアクリル板を設置しました。（写真右）
- 職員が感染源とならないための配慮と健康管理を全員ですすめています。



利用者様の声
利用する立場として、広くなり、発熱者待合室もあり大変有り難い。

■X線CT装置等をあらたに導入、二次検査機能を強化して質の向上をすすめています

- CTは胸部X線検査での有所見者への精密検査として早速その能力が発揮されています。
- 健診事業は、今期火曜・木曜は二診体制でこれまでの2倍近く受け入れています。
- 2診化に伴い胃カメラやX線・生理検査も、2セット配置し、精度をあげて検査を実施しています。



利用者様の声
健診で指摘されたCT検査、受けたが静かで早くてびっくりしました。

■新施設建設で快適な受診環境の整備が、コロナ感染防止におおいに生かされています

- 1階・外来診療フロアは、待合室は旧施設の4倍の広さとなり天井が高くゆったりとした清潔でこちよい環境となり、電子カルテ導入で安全・安心を第一に医療活動をすすめています。
- 2階・施設内健診フロアは、旧施設の2.5倍の広さとなり、受付から健診終了まで導線が、スムーズな流れと三密防止対策となっており、安心して受診できる環境となっています。



利用者様の声
スムーズで早くてびっくりしました。それに広くて綺麗でした。コロナ対策もしっかりされ安心して受けられました。

■感染防止とプライバシーを守り相談や指導できるスペースが生かされています

- 外来では、相談室と問診室を設けて医療費等の支払いや初診時間診などをお聞きしています。
- 施設内健診では、保健指導室や問診室を設けて、特定保健指導や問診をおこなっています。

■駐車台数は敷地内33台と近隣駐車場に30台、合計63台分を確保しています

利用者様の声
すぐ停められて、安心です。



※ 8月実施の利用者アンケートでいただきました声より

☑ 渡す、必要なら医療関係者に相談することが必要です。

特別の問題として

(1) 食事時の対応

多くのクラスターは食事に関連しています。食事時にはマスクを外すからです。職員の外食禁止の医療機関もあります。食事中を含め、マスクなしでの会話は厳禁です。

(2) インフルエンザ、喫煙

インフルエンザはコロナとの区別が難しいため、高齢者などリスクのある方に対し、インフルエンザ予防接種が励行されています。ワクチン供給が限られているようですが、インフルエンザ予防接種は受けた方が無難です。最近、喫煙者はコロナに感染すると重症化すると証拠（メタ分析）がでました。これを機会に強く禁煙をお勧めします。（2020/9/23記）